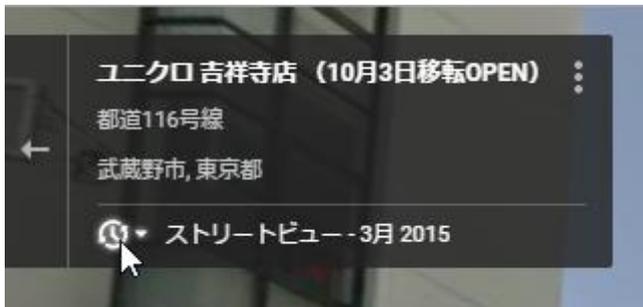


「Googleマップ」で過去のストリートビューを表示

「ストリートビュー」には、過去の画像があれば表示できる「タイムマシン機能」が用意されています。

ただし「タイムマシン機能」はすべての「ストリートビュー」画面で用意されているわけではありません。

「ストリートビュー」画面の左上に「ストリートビュー - 3月 2015」と「撮影年月」が表示されていますが、



その左の「ストリートビュー」という文字の左に「時計」マークがあれば「タイムマシン機能」が利用できます。

たとえば 2014 年 12 月に 吉祥寺駅前にユニクロが建ちましたが、その前は確か銀行だったかな？といったことが妙に気になることがあります。

そんなとき「ストリートビュー」画面左上に「時計」アイコンがあればクリックすることでタイムラインが表示されます。

この場合だと「2009 年 8 月」「2009 年 10 月」「2014 年 3 月」「2015 年 3 月」の画像を見ることができます。

遷移を見ると、2009 年は「三菱東京 UFJ 銀行」があり、2014 年 2 月 は工事中で、2015 年 3 月には「ユニクロ」が建っているのが分かります。



ローカルネタかもしれませんが、使い方次第では面白い機能です。

現状では古くても 2008 年頃までしか遡れませんが、もしこのサービス が 10 年、20 年と続けば、記録として価値が出てくるでしょう。

きっと Google なら「しぶとく」継続しているはずです。

そもそも「タイムマシン機能」は東日本大震災の被害を記録するときに「震災前に撮影されたストリートビューの画像を残して欲しい」という意見が開発の「きっかけ」になったものです。

今後も、たとえば 2020 年の「東京オリンピック」前後で変わっていく東京の街並みや建造物などをあとから確認することができるでしょう。